

令和2年度 錦中学校学校評価アンケートの分析と対策について

アンケート結果の分析 ※番号は、アンケート番号と同じ

【豊かな人間性】

- 1 生徒・保護者・教師とも、生徒は楽しい学校生活を送っているとおおむね好評価であった。
- 2 時間を守った生活については、生徒は学校ではきちんと守れていると考えているが、教師は生徒が時間を守れていない状況とその意識に差が見られる。家庭でも時間にルーズになっている傾向にある。
- 3 あいさつについては、生徒は学校であいさつができていていると考えているが、教師はあいさつのレベルアップを目指しており意識の差が見られる。また、家庭や地域でのあいさつは身に付いていない。

*重点指導項目①

- 4 掃除については、生徒は学校での自問清掃ができていていると考えているが、教師は、自問清掃が定着していない状態と考えている。家庭での清掃もあまりできていない。*重点指導項目②
- 5 スマホやゲームの使い方については、生徒自身のルールやマナーを守って使っているつもりだが、長時間使用による生活習慣の乱れやスマホに絡む生徒指導上の問題も発生しており、保護者・教師は低評価である。*重点指導項目③
- 6 教師は、通信等で学校の様子を伝えきれていないと考えているが、生徒や保護者はおおむね高評価である。また、学校はホームページ上にも学校行事の様子や部活動計画等を随時更新しており、情報発信に努めている。
- 7 悩みの相談については、教師は生徒との相談ができていていると考えているが、生徒や保護者は、学校にもう少し相談に乗ってほしいとの思いがある。

【確かな学力】

- 8 教師が生徒の学習意欲を引き出し、生徒は学習意欲を持って授業に取り組んでいることはおおむね評価できるが、保護者にそのことが十分に伝わっていない。
- 9 授業の内容についても、生徒と教師は高い評価であるが、保護者に伝わっていない。
- 10 家庭学習については、生徒自身は取り組んでいるつもりであるが、教師はまだ不足していると考えている。保護者は若干であるが生徒が学習に取り組めるようになったと考えている*重点指導項目④
- 11 読書については、教師は読書に対する取組を行っているつもりであるが、保護者・教師とも前回よりも低評価であり、読書の取組を要する。*重点指導項目⑤

【健康な体】

- 12 運動については、教師の評価ほど生徒・保護者の評価は高くなく、家庭や地域での関心は低い。
- 13 部活動については、生徒・保護者・教師とも意欲的に取り組んでいると評価している。
- 14 朝ご飯や給食について、生徒・保護者・教師ともよく食べていると評価している。
- 15 家での歯磨きはきちんとできているが、学校での歯磨きができていない。*重点指導項目⑥
- 16 交通ルールは、生徒・保護者は守れていると考えているが、教師は、地域からの苦情も多く、安全意識を高く持ち、自転車に乗れているとは評価していない。*重点指導項目⑦

重点指導項目の対策

○重点指導項目①について

あいさつについては、学校内では立ち止まりあいさつや場に応じたあいさつができていている生徒が増えてきたものの、家庭や地域でのあいさつも学校と同様に実践できるよう日常的に指導していきます。

○重点指導項目②について

まずは、学校における自問清掃の取組の徹底を図ります。また、清掃の意味や意義を考えさせるとともに、担当箱や机の中などを片付けさせるなど、日常的な整理・整頓の指導も行っていきます。

○重点指導項目③について

スマホやゲーム等の使用については、「錦町情報安全ルール三ヶ条」をもとに、今後も情報モラル教育や健康に及ぼす影響等を含め、PTAとも連携しながら、適切な扱い方の指導を継続して行っていきます。

○重点指導項目④について

家庭学習については、有効な「学びてノート」の活用や各教科での適切な課題の提示等を工夫改善し、計画的な家庭学習に取り組めるよう個に応じた指導を行っていきます。

○重点指導項目⑤について

読書離れが進み、継続した課題となっているため、新しい本の購入や読書に関する啓発、本に親しむ時間の設定等、学校総体としての取組を積極的に行っていきます。

○重点指導項目⑥について

給食後の歯磨きについては、教師が歯磨き指導を徹底して取り組ませるとともに、う歯保有者には、病院での治療を継続して指導していきます。

○重点指導項目⑦について

交通ルールについては、「自転車安全利用五則」の厳守とともに、工事箇所の確実な周知や定期的な交通指導の取組を行い、危険予測・回避能力の向上を図っていきます。